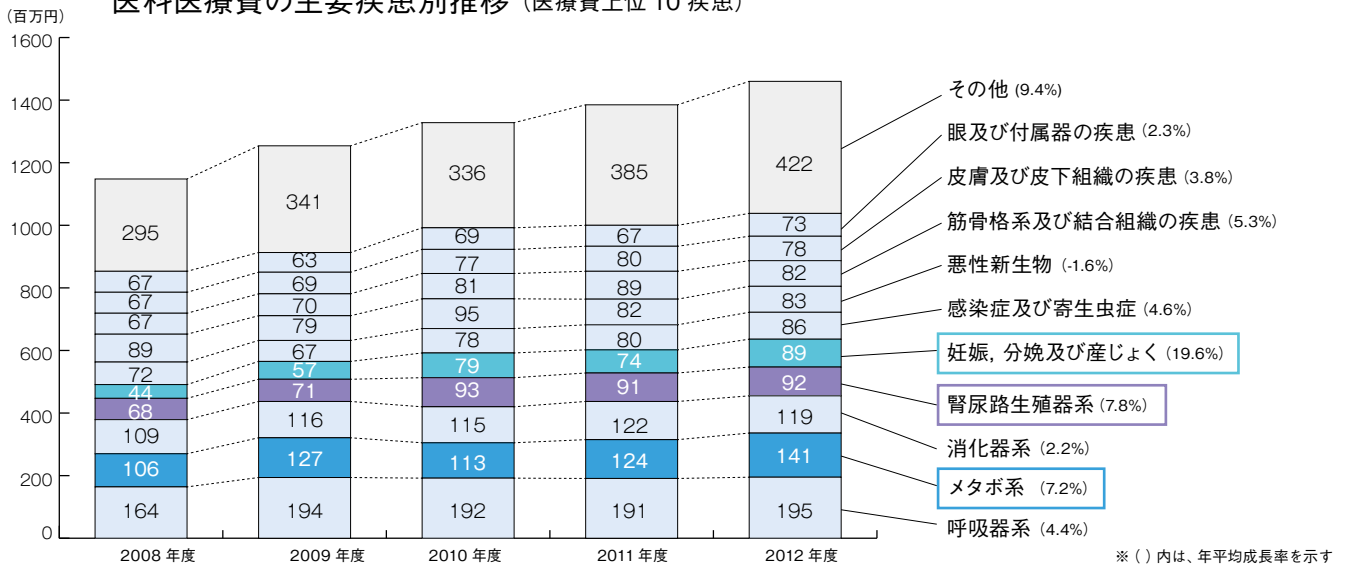


医療費から見える ワールドグループの課題とその対策

①ワールドグループ医療費過去5年間の推移

過去5年間の医科医療費の上位10疾病の推移は下記のような状況です。
ワールド健康保険組合の加入者数は横ばいにもかかわらず、医療費総額の支出は年々増加しています。
特に妊娠、分娩及び産じょくにかかる医療費の増加が顕著です(年平均19.6%増)。

医科医療費の主要疾患別推移 (医療費上位10疾患)



③これまでの保健事業施策 (健保組合と事業主)

分類	優先度	これまでの取り組み	成果		
医科医療費	婦人科系疾患	1	妊娠の啓発活動 (マタニティセルフケアBOOK配布) 保健師による個別体調確認の実施 (重度貧血者・妊娠中不調者等)	マタニティセルフケアBOOK配布 約500人/年 保健師体調確認: 重度貧血者 10人/年 妊娠不調休業者 30人/年	
	精神神経系疾患	1	電話相談 (本人無料) & 面接指導 (補助有) (保健同人社へ委託<面接相談: 年5回まで補助有り、6回目以降全額自己負担>)	利用者数⇒ 電話相談 延べ159人 メール相談 延べ12人 面接相談 延べ10人	
	前期高齢者	1	保健事業 (訪問事業/健康啓発冊子配布) 個別健康支援 (レシピ確認/健康度別継続フォロー)	全体の年間医療費減少 (2012年度比の2013年度医療費: 88.4%)	
	メタボ系疾患	重症	2	ハイリスク者の疾病管理 (レシピによる定期受診・治療状況の確認) 保健指導 (面談含む)、面談不能者への文書指導 定期受診者への継続支援 (遠隔地)	面談者の結果 ・データ改善、又はコントロール良好 (23.5%) ・データの変動なし、又は自己管理実施 (61.8%) ・治療不十分、未治療、又は自己管理なし (14.7%)
		基礎	3	被保険者・被扶養者に対する特定健診・特定保健指導の実施 (健保保健師・委託業者が担当) 禁煙キャンペーンの実行	特定健診・特定保健指導ともに受診率・実施率が参酌標準を達成 メタボ改善率も11.8%と参酌標準を上回った
悪性新生物	3	被保険者検診 (ガン検診: 胃ガン/大腸ガン/乳ガン/子宮ガン) 配偶者健診 (基本健診・ガン検診)	被保険者における受診率 (胃68.9%、大腸73.5%、乳69.4%、子宮61.3%) 有所見者における措置率 (胃75.1%、大腸61.3%、乳72.2%、子宮78.0%)		
調剤費	4	ジェネリック変更通知書の通知 (年4回) ホームページに日本調剤のホームページリンクを貼る	全体のジェネリック使用率が改善 (通知前20.8% ⇒ 通知後23.6%) 通知者12%において医療費削減効果があった		

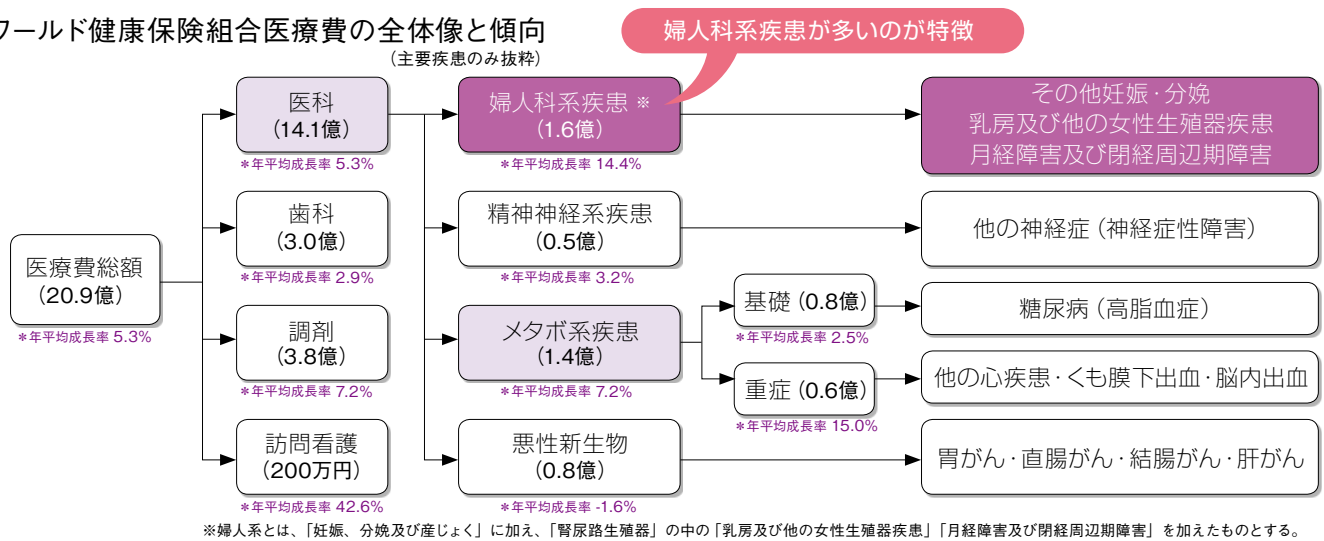
ワールド健康保険組合は事業所と連携して、皆さんの健康の保持増進に取り組んでいきますが、何よりも大切なのは、皆さん一人ひとりの健康維持・増進への意識の高まりです。増え続ける医療費を抑制するためには、皆さんが少しづつでも日々の健康づくりに取り組んでいくことが重要です。

② 2012 年度の医療費の全体像と傾向

2012 年度の医療費総額のうち、大きなウエイトを占めるのが医科医療費と調剤費です。医科医療費の中でも、メタボ系疾患（1.4 億）に比べて婦人科系疾患の医療費（1.6 億）が高いことが当健保組合の大きな特徴です。しかも、この婦人科系疾患の医療費は急増し、年平均成長率はメタボの倍（14.4%）となっています。この婦人科系疾患の医療費が高いことは、女性加入者の割合（約 78%）が多いことと関係しており、女性加入者の健康を保持増進していく事が当健保組合の重要な課題となってきます。

ワールド健康保険組合医療費の全体像と傾向

(主要疾患のみ抜粋)



④ 今後の保健事業施策（健保組合と事業主）

ワールド健康保険組合では、これらの医療費分析を踏まえ、2015 年度から事業計画として「データヘルス計画」をスタートさせていきます。これは、国が推進する予防・健康管理の新しい取り組みのひとつである加入者の健康保持増進のための効果的な保健事業のことです。特徴として、事業主との協働（コラボヘルス）が挙げられており、会社と健保組合が一体となって加入者の皆さんの健康の保持増進に取り組んでいきます。

もっとも大切なことは、加入者の皆さん一人ひとりの健康意識の高まりです。自分の健康は自分で守る。そのためには、下記の項目を特に意識しながら自分の健康は自分で守っていきましょう！

1 良い生活習慣を身につける

- ①運動習慣
- ②歯磨き習慣
- ③規則正しい食事習慣をつける
- ④禁煙にチャレンジする

2 ガン検診は必ず受ける

結果を放置せず、必ず事後措置を受ける。

3 配偶者・ご家族は、年に一度は必ず健診を受ける！

女性の皆さんはぜひ次のページもお読み下さい。

